

維新推薦の原氏 異様な陳述

株式会社政策工房の原英史代表取締役は15日、衆院予算委員会の公中央公聴会で、「国会における説謗（ひきう）中傷（じゆう）」と題し、由らが觸（ついた）国家戦略特区疑惑（ぎふく）について、「毎日」記事や立憲民主党的（だてき）森裕子参院議員（いん）への由らの訴訟（そそう）について討論（とうろん）を開く。その様な陳述（ちじゆ）を行った。

日本共産党的（だてき）本徹議員（いん）は質疑（しつぎ）の冒頭、
「公聴会は国際から意見（いんべん）を聞き、その後の審議（しんぎ）に生かすために開かれていた」と指摘（し）、「原氏（し）の公述（こうじゆ）が、由ら抱（い）える条件（じ）について私

的な反論（はんろん）をひいたりと述べた」とした。「予算委員会の公聴会のあり方としてふさわしいのか。甚だ疑惑（ぎふく）だ」と批評（ひひやう）、「（原氏）を）推薦（めんざ）した会派（かいはい）（維新）の責任（せきじん）も聞われる」と指摘（し）した。

そのうえで由本氏（し）は、国家戦略特区ワーキンググループで座長（ざなう）代理も務めた原氏（し）に於（お）いて、国家戦略特区の構組みを使つた加計学園（がけがくえん）による歯医学部新設（し）について質問（しつもん）。2010年4月を開學（かいがく）の条件（じ）として、事前に加計学園（がけがくえん）のみ情報を共有（こうゆう）したため加計学園（がけがくえん）が選ばれたとして、「この条件（じ）は

誰の指示か」とたたしました。原田は、「歟医学部の新設は80年近く前、20年以上にわたって議論されてきました」と述べるのみで、まじめに答へませんでした。

で、政策工房の原英史代表取締役が自らの訴訟にかかわって陳述したことについて、「大変重要な陳述だ」と持ち上げる一方、「万年与党や万年野党が茶番劇を繰り返してきた」と非難しました。

足立氏は、原氏が立民議員に対する訴訟について述べたことに關して、公聴会で質問に立った立民議員の「謝罪がなかった」と発言し、「立派のみなさんはとにかく謝りますからね」と非難。さらに「新潟合団ヒアリング(での発言)ですから、政党としてしっかり対応していくべき

国家戦略特区疑惑 宮本議員が批判

日本維新の会の足りない議員は15日の衆院予算委員会中央公聴会